令和7年度　豊川市立豊小学校　学校だより

ゆたか

第12号
2025.10.30

←社会の授業でビブスを着ている6年生。実は、「信長・秀吉・家康の誰が一番すごいか」をディベートしているところ。チーム戦です。

☆ 10 月 14～15 日、修学旅行で奈良・京都へ行って来ました。

奈良公園でガイドさんと。

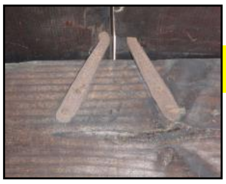
～6年生「旅行を振り返って」～

「この2日間は、みんなと成長できた一番の日だと思いました。自分たちでレクやルールを決めたり、動いたりして、何かを学び成長しているんだと、自分自身が感じたからです。特にそう思ったことの1つ目はガイドさんの話をしっかり聴けたことです。2つ目は、時間を守っていたことです。しおりや時計で前もって確認している子が多くいて、予定より早く行動することができました。この旅行を通してみんなとの絆が深まった気がします。とても楽しい2日間でした。」by 修学旅行実行委員のRさん

「金閣寺よりも輝いて　大仏より大きい思い出」をつくってきた6年生でした。

↑今回の旅行スローガン」

右写真のこれが、二条城ウグイス張りの音がする仕組み。床の下に大きなクギが見えますね。

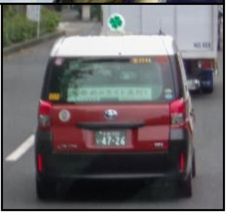


旅館の朝ご飯

シカせんべいを。

東大寺の柱の穴

京都のヤサカタクシー1300 台のうち４台しかない幸運の四つ葉のクローバー号に出会いました。とてもレア写真！⇒



☆学芸会まであと９日。豊小の歴史をひもとくと…。

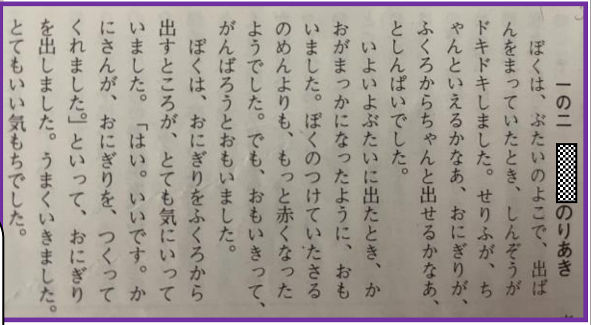
(1)　昭和59年３月15日　　ゆ　た　か

心をこめてみんなでつくろう

第2回 学芸会

ら姿を……ていく、そんな中で、豊小学校では第二回目の学芸会が二月五日に開催されました。新調した真赤な衣装を身につけたマーチングバンド

左は、昭和 58 年度発行の PTA 新聞。豊小創立２年目の学芸会の様子です。この年度から全校に披露する発表会が行われることになったようです。写真は、当時の６年生が演じた「火の山」という劇の一場面。下の文は、当時の１年生が書いた振り返りです。


一の二 [redacted] のりあき

ぼくは、ぶたいのよこで、出ばんをまっていたとき、しんぞうがドキドキしました。せりふが、ちゃんといえるかなあ、おにぎりが、ふくろからちゃんと出せるかなあ、としんぱいでした。

いよいよぶたいに出たとき、かおがまっかになったように、おもいました。ぼくのつけていたさるのめんよりも、もっと赤くなったようでした。でも、おもいきって、がんばろうとおもいました。

ぼくは、おにぎりをふくろから出すところが、とても気にいっていました。「はい。いいです。かにさんが、おにぎりを、つくってくれました。」といって、おにぎりを出しました。うまくいきました。とてもいい気もちでした。

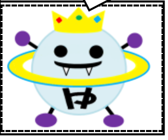
今から43年前の記事ですが、その年のテーマ「心をこめてみんなでつくろう」という取り組みの精神は、豊小に脈々と受け継がれている、と感じます。一人一人の子どもが努力し、互いに高めあって協働した発表をする。それを保護者・地域の方・教員みんなで応援し、子どもたちの成長を喜びあう。そうして、子どもが自信をつけ、また新たな目標に歩みだす。・・・今年もそんな機会にしようと、いま全校が練習に励んでいます。

↑この子の「おもいきって、がんばろう」…「とてもいい気もちでした」という言葉がいいですね。小学校での記憶がやがて薄れていっても、得た経験は、必ずその子の成長の糧になっていきます。今年の合言葉は「みんなで見せよう　成長の輪」。

11 月 8 日(土)の本番をお楽しみに。お時間があれば、お子さん以外の学年の発表もご覧ください。

☆「いもほり、たのし～い！」１年生＆支援学級の子の笑顔。

今年は、すごい豊作（ほうさく）だったよ



「豊小を育てる会」の方々とサツマイモ掘りをした豊っ子のみんな、いっぱい採れてうれしかったね。どうして豊作だったのか、知っておいてね。それは、会のおじいさんたちが、夏の暑い間もずっと水やりして、日光が当たるように周りの木の枝を刈ったりして、みんなの知らないうちに畑のお世話をしてくださったからだよ。そのおかげで、いもほりができたんだ。心から「ありがとうございます！」だよね。